

防犯カメラ：ES-CD200シリーズ



取扱説明書

2017年5月更新
(設置工事説明書付)

- アナログ52万画素シリーズ
 - ・ ドーム型・超広角固定レンズ
- ホワイト：ES-CD200AW/C
ブラック：ES-CD200AB/C

- AHD200万画素シリーズ
 - ・ ドーム型・超広角固定レンズ
- ホワイト：ES-CD200PW/C
ブラック：ES-CD200PB/C



このたびは、当社製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
当取扱説明書をよくお読み頂き、正しく安全にご使用下さい。
特に、取扱説明書内に記載して御座います電気安全事項は遵守してくださいよう、お願い申し上げます。
尚、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

目次

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）	3
2. 同梱付属品	3
3. 商品概要	3
4. 配線全体接続例	4
5. 配線ケーブルご使用の際のご注意	6
① 映像ラインのケーブル選定	6
② 電源ラインのケーブル選定	6
③ 共通の注意事項	6
④ 一体型ケーブル以外を配線した場合の、必要なコネクタ類	6
6. 設置工事（全体の流れ）	7
① カメラ設置位置の選定	7
② カメラケーブルの逃がす方法の決定	7
③ カメラ設置面に対する支持材選定	8
④ 配線ルートの確保と配線工事	8
⑤ カメラの設置	9
⑥ 屋外で電源・映像一体型ケーブルを使用してカメラと接続した接続部分の保護方法	9
⑦ カメラ映像画角の調整	9
⑧ レンズの調整	9
7. 画角調整方法	11
8. 赤外線LEDについて	15
9. レコーダーで本機を録画するときの注意点	15
① アナログ52万画素シリーズの場合	15
② AHD200万画素シリーズの場合	15
10. 本機画素数とモニター画素数	15
11. カメラ外観図	16
12. カメラ仕様（アナログ52万画素シリーズ）	16
13. カメラ仕様（AHD200万画素シリーズ）	17
14. アフターサービスについて	18

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）



警告事項

- ① 設置工事は電源工事が必要な場合も御座います事から、工事業者が行って下さい。
- ② 異常が見られた場合には、全ての電源（コンセントを抜く等）を遮断して触れないようにしてください。放って置きますと、火災の原因になります。
- ③ 分解しないで下さい。機器内部に人体が触れますと感電する可能性があります。
- ④ 水気・湿気の多い場所に置かないで下さい。
- ⑤ 濡れた手で触れないで下さい。感電・火災の原因になります。
- ⑥ 設置工事の際、筐体・躯体へ止めるときは必ず決められた部材（アンカー・コンクリートビス等）で設置してください。落下の原因になります。
- ⑦ 雷の際の工事は直ちに中止してください。また配線の一切に触れないで下さい。
- ⑧ コード・ケーブル類の破損の恐れがある場所への配線は避けて下さい。
- ⑨ 電源プラグは確実に差し込んで下さい。また定期的にプラグの清掃をお願い致します。



禁止事項

- ① 専用アダプタへの電源は必ず A C 1 0 0 V を接続してください。
- ② 機器へは必ず決められた電源を供給してください。
- ③ ケーブル類は必ず決められた太さのケーブルを使用してください。感電・火災の原因になります。
- ④ 仕様表に基づく使用環境を遵守して下さい。

2. 同梱付属品

- | | | |
|----------------------|-----|----------------------------|
| ① カメラ本機 | 1 台 | |
| ② 角度調整用六角レンチ | 1 本 | |
| ③ カール P C プラグ（緑色の部材） | 4 本 | ※ コンクリートの壁面設置時のみ使用、天井面使用禁止 |
| ④ 木ネジ | 4 本 | |
| ⑤ 取扱説明書 | 1 冊 | |
| ⑥ 製品保証書 | 1 通 | |

電源アダプタ、ケーブル関連は別売りです。
レコーダーとのセット商品の場合はケーブル・アダプタが付属します。

3. 商品概要

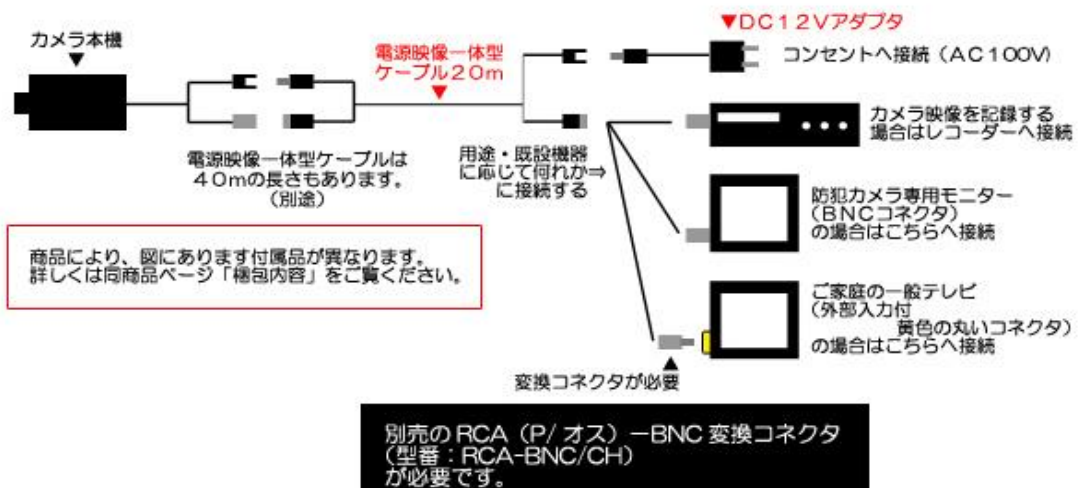
監視・防犯カメラ 暗視・防滴防雨・赤外線暗視機能搭載型カメラです。
主にご家庭・小規模店舗及び商店様向けです。

画素数は、

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ● アナログ52万画素シリーズ | ● AHD200万画素シリーズ |
| ・ ドーム型・超広角固定レンズ | ・ ドーム型・超広角固定レンズ |
| ホワイト : ES-CD200AW/C | ホワイト : ES-CD200PW/C |
| ブラック : ES-CD200AB/C | ブラック : ES-CD200PB/C |

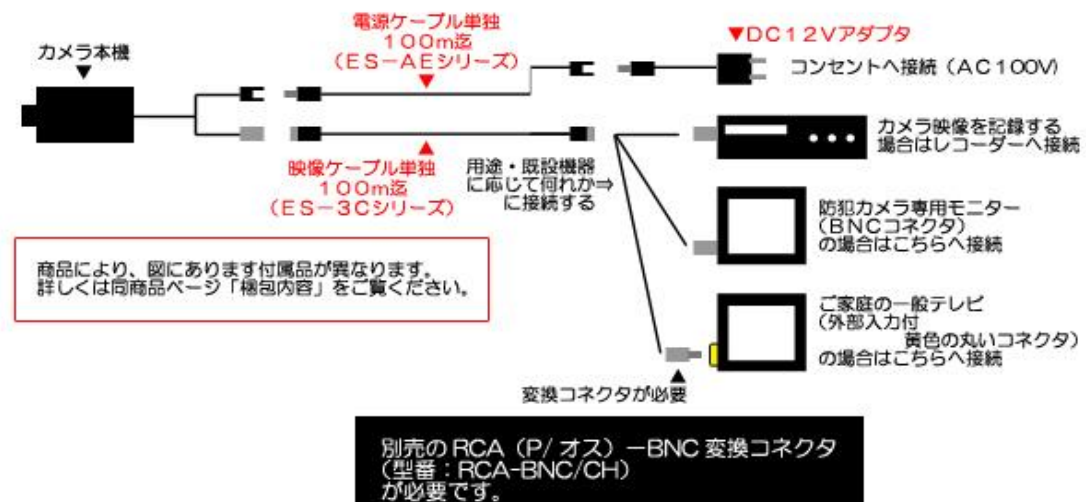
配線・接続例1

○一体型ケーブルを使用し、モニター側にコンセントがある場合



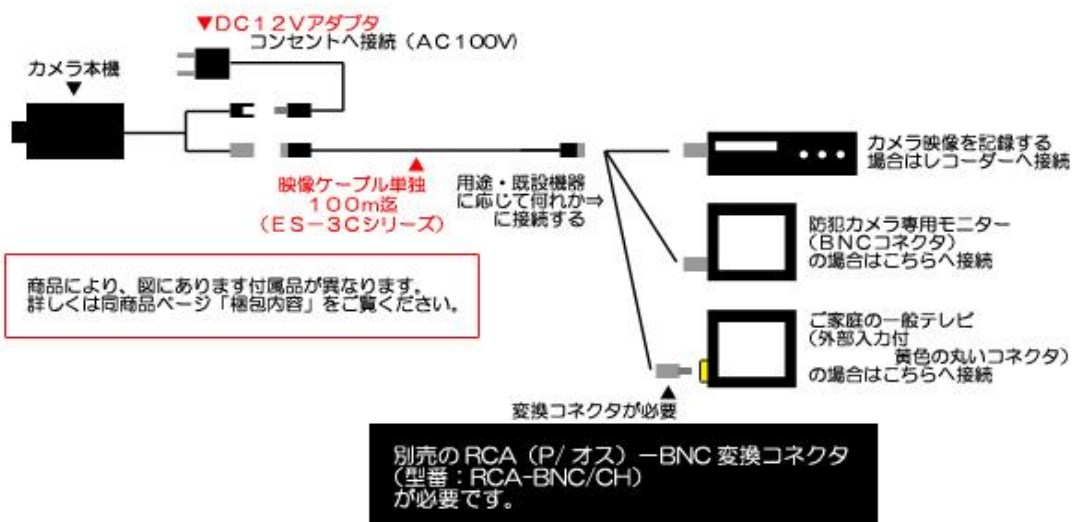
配線・接続例2

○ケーブルの長さが41m以上の場合且つコンセントがモニター側にある場合



配線・接続例3

○コンセントがカメラ直近にある場合



5. 配線ケーブルご使用の際のご注意

電源映像一体型ケーブルは40mまでのケーブル長でお願い致します。
但し、

- 電源映像一体型ケーブル20mをジョイントして40mにする方法はノイズが発生・映像信号減衰による映像不良の原因となります。
- 電源映像一体型ケーブルを40mまで敷設する場合は、該当商品である電源映像一体型ケーブル40m (ES-2C2V40・別売) をご利用ください。

① 映像ラインのケーブル選定

	1m～20m	21m～40m	41m～100m	101m～200m
一体型ケーブル20m	△	×	×	×
一体型ケーブル40m	○	△	×	×
同軸ケーブル3C	○	○	○	×
同軸ケーブル5C	○	○	○	○

- : 問題ない。
△ : 電磁誘導の要因があった場合、映像にノイズが乗る場合がある。
× : 映像不良の誘発に繋がります。

※ 同軸ケーブルのインピーダンスは75Ωで種類はF・B・2Vどちらでも可。

② 電源ラインのケーブル選定

	1m～20m	21m～40m	41m～100m	101m～200m
一体型ケーブル20m	○	×	×	×
一体型ケーブル40m	○	○	×	×
太さ0.9mmの2芯	○	○	○	○
太さ1.2mmの2芯	○	○	○	○

- : 問題ない。
× : 電圧ドロップにより、カメラに十分電圧供給出来ない可能性がある。

※ 電源ラインで一体型ケーブル以外には、HP、CPEV、AE、OP線等。



電源ラインのケーブルにおいては0.9mm以下の使用は避けて下さい。
※0.9～1.2mm推奨

③ 共通の注意事項



- ① 配線するケーブル線種の長さは上記表を遵守してください。
- ② カメラから機器側末端までケーブルのジョイントは極力避けて下さい。
- ③ ケーブルは強電ラインと確実に離して配線を行ってください。
- ④ 一体型ケーブル以外を使用する場合は、カメラ側・機器側に合うコネクタを別途、お客様にて調達する必要があります。

④ 一体型ケーブル以外を配線した場合の、必要なコネクタ類

- 映像ライン（同軸ケーブルの場合）はインピーダンス75ΩのBNCコネクタ

1) 同軸ケーブルは3C-FBの場合は3C用圧着式コネクタ
当社型番：BNC-3C

但し、コネクタを取付するには専用の圧着工具が別途必要です。

- 電源ライン（2芯ケーブルの場合）は以下の2点

- 1) DC12Vケーブルサキバラ用コネクタ/メスジャック・ネジ締式取付
- 2) DC12Vケーブルサキバラ用コネクタ/オスプラグ・ネジ締式取付

当社型番：ES-DCP55JM

当社型番：ES-DCP55PO

6. 設置工事（全体の流れ）

① カメラ設置位置の選定

- カメラの設置位置を決めるため、設置予定箇所に仮設（手で持つ等）して実際にモニタリングしてください。
- 下記②にてカメラ固定が出来るかどうか、設置面に入線口用の開口が出来るかどうかの確認もする必要があります。
- 電源周波数50Hz地域（東日本）は照明直下・直近ですチラつきが発生する恐れがあります。極力照明から離し、且つ照明が極力画像内に入らないよう角度調整してください。
- 本機は機種により、カメラと被写体との直線距離目安があります。
これは顔などの証拠能力として捉えられる目安範囲（当社にてお勧め値・目安値）です。

・ ES-CW360シリーズ	3～8m	
・ ES-CD200シリーズ	3～8m	※ 本機
・ ES-CW420シリーズ	ズームアップ・ズームインが手動で可能	2～15m
・ ES-CD241シリーズ	ズームアップ・ズームインが手動で可能	2～15m

これを1つの目安として設置位置を検討してください。

- 設置位置（屋外・屋内）の設置可能場所は以下の通りです。

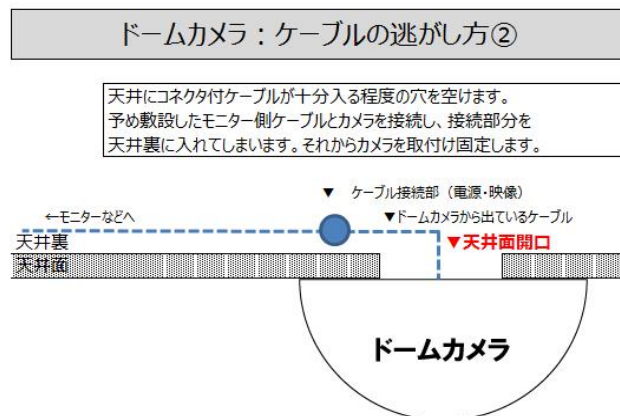
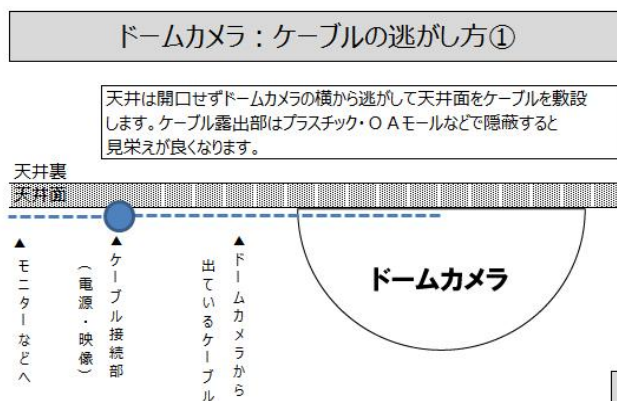
・ ES-CW360シリーズ	屋内・屋外（雨ざらし対応可）	
・ ES-CD200シリーズ	屋内・屋外（雨ざらし対応可）	※ 本機
・ ES-CW420シリーズ	屋内・屋外（雨ざらし対応可）	
・ ES-CD241シリーズ	屋内・屋外（水気の無い軒下は可能、雨ざらし不可）	

② カメラケーブルの逃がす方法の決定

カメラケーブル配線ルートで、カメラ設置箇所により方法が異なります。

下記①のように天井裏へケーブルを逃がせない場合は設置面に、ケーブルを這わせませす。

②のように天井裏などに逃がせる場合、は天井裏などにケーブルを這わせて隠ぺい配線が可能です。



一方で設置面裏側（天井裏）に逃がせない場合は、下記写真のように市販されているプラスチックモール等で配線を隠蔽す
お部屋の美観を損なわず配線する事が出来ます。



← プラスチックモール
太さもいろいろあります。

③ カメラ設置面に対する支持材選定

設置しようとする壁面・天井の材質を確認してください。ここでは材質による、止め金具（ビス等）の例を挙げます。

● コンクリートの場合（ドリルで穴開け可能な躯体）

- ・ 付属のカール P C プラグと木ネジ
- ・ コンクリートビス



付属のカール P C プラグは横向きの場合のみ使用可。
縦方向での使用は避けて下さい。

● 石膏ボードの場合（1枚張り・2枚張り）

- ・ ボードアンカー
- ・ カベロック

● その他（上記2点以外の材質）

設置困難な場所（電柱・木材・凹凸部等）は、脱落防止の為、別途支持材（プルボックス・自在バンド等）を
使用し、確実に固定出来る金具をご調達下さい。



注意事項

- 1) 脚立を使用して設置するような場所には、必ず支持ワイヤーで脱落防止措置を取って下さい。
太さは1mm程度が望ましいです。
- 2) カメラ設置後、躯体に確実に固定されているか必ずご確認をお願い致します。

④ 配線ルートの確保と配線工事

配線に関する注意事項は「配線ケーブルご使用の際のご注意」をお読みください。

配線工事時はケーブルを無理に伸ばしたり曲げたりしないで下さい。

必要以上の圧力をかけると、内部で折れたり切断されたりします。

また、カメラ側と機器側（モニター等）の両末端は若干たわみが出る程度の余裕な距離の確保をお願い致します。

※ 一体型ケーブルを使用する際の注意事項

一体型ケーブルの両端の電源コネクタ形状は異なります。

従って、一体型ケーブルを配線する場合以下になるよう配線をお願い致します。

機器側（モニター等）
電源ラインがメスになる

カメラ側
電源ラインがオスになる



⑤ カメラの設置

下記 2 点は取付ベースをカメラから外してから施工する流れになりますので、P11よりご参照ください。

前頁の②で選定したカメラ支持材（ビス等）使用してカメラを確実に固定してください。

またカメラ設置の際、配線したケーブルとの接続をしておいてください。

その後、機器側（モニター等）を接続してください。

そして、最後にカメラへ電源供給するアダプタを接続してください。

⑥ 屋外で電源・映像一体型ケーブルを使用してカメラと接続した接続部分の保護方法

下記写真の接続部が屋外露出する場合、外気と水気に触れないよう、以下の写真のように接続部を電気工事用ビニルテープで保護してください。



▲
カメラ・一体型ケーブル
接続前



▲
カメラ・一体型ケーブル
接続後



▲
接続部をビニルテープで
厳重に保護する
※文房具テープは不可
電気工事用をご利用ください。

※電気工事用ビニルテープはホームセンターの電気材料・資材コーナーなどで安価で入手可能です。

⑦ カメラ映像画角の調整

モニターに映像を映し出ししながら、下記の方法に従って画角を調整してください。
調整が終わったら、確実に固定してください。

画角調整方法はP12-「角度調整の方法」をご参照ください。

これでカメラ設置は完了です。

⑧ レンズの調整

本機は固定レンズの為、調整の必要はありません。

memo.

▼STEP1

天井面への設置方法でケーブルを露出配線にするか、天井裏隠蔽配線にするかを決定してください。そして予めモニター側などのケーブルを敷設した後、天井裏隠蔽配線の場合は予め天井面を開口してモニター側のケーブル（電源・映像）を接続してモニタリングなどが出る状態にしてください。



写真1をご覧ください。
ネジ部に付属の六角レンチを入れて矢印の方向に回すと、ネジ部が緩んで出っ張ってきます。
このネジ部のネジ山が3山程度見たところで止めて六角レンチを外します。

写真2をご覧ください。
右手でレンズ部側を持ち、左手でレンズ部との境目の左側を持ちます。
この時、右手は動かさずに左手だけ上方向へ回します。
固い場合は写真1での緩める作業を追加してください。

緩み切って、左手に持っているパーツを外すと自然にレンズ側パーツも外れます。
すべてのパーツを外すと写真3のように4つのパーツに分かれます。

▼STEP2



ズ部から出ているケーブルのコネクタが入る程度の隙間（設置面と取付台の間に）を作り、予め写真2のように取付台切欠きからケーブルを横に逃がしておいてください。

写真1をご覧ください。
写真1の取付ベースを設置面に設置します。
写真1の矢印の先の穴にネジなどの支持材を打ち込んで固定します。
またこの時、カメラからのケーブルを横に逃がす場合は、写真1の矢印先の穴に軽くネジを打ち込んで取付ベースが落ちない程度且つ、カメラレン



**重要
固定作業**

ここでの注意点として、設置面の材質により止め部材を変えてください。
尚、同梱しておりますビスは設置面が木板の場合のみ使用してください。
以下は材質によつての適切な止め部材例を示します。

石膏ボードの場合：ボードアンカー、壁ロック、バット・ITハンガー
コンクリート等の躯体：コンクリートビス（インパクト・ハンマードリル必要）
木板：同梱の木ビス他

当止め穴は5mm3点ですのでビスの太さは3～4mmが適切です。
同梱の木ビス以外はお客様にてご調達ください。
止め部材の選定を誤りますと落下・脱落の危険性があります。

▼STEP3



STEP1で外した各パーツを装着していきます。
ここでは、すでにパーツB(レンズ部) からでている
ケーブルが取付台の横から逃がっている状態という
ところから装着のご説明します。

まずパーツDをパーツB(レンズ部) を潜させます。
次にパーツCをパーツB(レンズ部) とパーツDを
潜させます。
そのままパーツCを設置面まで付けて、写真1の
A矢印の方向へ回すと各パーツが締め付けられて
固定された状態になります。

角度調整は別項を参照してください。

▼角度調整の方法



電源・映像ケーブルを接続して映像をモニターに
表示している状態で画角調整します。

写真1のパーツAを矢印の方向へ回して緩めます。
すると写真1のパーツCが手で触ると動きます。
(動かない場合は更にパーツAを緩めてください)

まずは写真2のセンサー部が設置面とは逆の向き(天
井面に設置した場合は床側)にレンズ部を向けてくだ
さい。

次にモニターを見ながら、パーツCを手動で動かして
ご希望の位置に調整します。

画角が定まったら、写真1のパーツBを回して、D部
の半円切込部とパーツCが写真1のように合わさる
状態にしてください。

パーツBとCを方で片手で動かないようにしっかり持ち、
もう片方の手でAを矢印の方向に回して締め付けます。

最後にEのネジ部を六角レンチで締付けて完了です。

memo.

memo.

8. 赤外線LEDについて

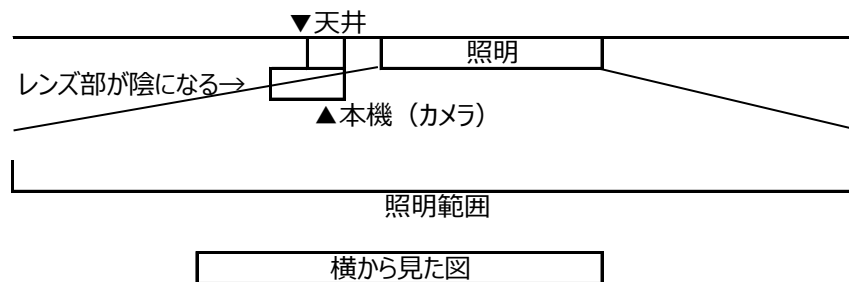
夜間（センサー部が明るさを検知して暗さを判断）になると、赤外線LEDが被写体に照射して証明がまったくない場所でも鮮明（映像は白黒）に映し出します。

しかしこれはあくまでも赤外線が被写体が浴びて、浴びた被写体だけ映像として捉えるので、上記の赤外線投射距離を明らかに超える、遠くの風景はカメラは捉えることが出来ません。

従って、上記赤外線投射距離を超える遠くの風景をカメラが狙っていた場合は何も映りませんが、この時に赤外線投射距離内に人や車が通貨した場合はカメラは捉えることが出来るという仕組みです。

赤外線LEDについて以下のご注意事項があります。

- ① 明るい場所でも以下のような条件の場合、赤外線LEDが作動して映像が白黒になる場合があります。



- ② 照明の色が通常の蛍光色以外で周囲が明るい場合でも赤外線LEDが作動して映像が白黒になる場合があります。
- ③ メインとなる被写体に補助的にセンサーライトなどの照明を夜間に照射した場合、その光を本機が拾って、本機の赤外線LEDが作動しない場合があります。
この場合、被写体を鮮明に捉える事が出来ない可能性があります。
補助照明がある場合は、かならず夜間時に赤外線LEDが作動するか否か？
被写体はイメージ通りに捉える事が出来ているか否かを画像で確認する必要があります。

9. レコーダーで本機を録画するときの注意点

① アナログ52万画素シリーズの場合

レコーダーで録画する場合のエンコードは「960H」で録画します。
またエンコード設定で「960H」の設定項目があるレコーダーのみで録画する事が出来ます。

② AHD200万画素シリーズの場合

レコーダーで録画する場合のエンコードは「1080P」で録画します。
またエンコード設定で「1080P」の設定項目があるレコーダーのみで録画する事が出来ます。

10. 本機画素数とモニター画素数

本機画素数は52万画素または200万画素ですが、モニター側がこれを下回る画素数ですと本機本来の画素数が保てません。

モニター表示する場合は、モニター側の画素数もご注意ください。

また本機をレコーダーやコンバータ経由で130万画素や200万画素出力（VGAかHDMI出力）した場合は、本来の52万画素より鮮明に映ります。

11. カメラ外觀図



12. カメラ仕様 (アナログ52万画素シリーズ)

▼本機▼

総画素数	52万画素(960H) / アナログ			
型番	ES-CW360AW/C ES-CW360AG/C	ES-CD200AW/C ES-CD200AB/C	ES-CW420AW/V ES-CW420AG/V	ES-CD241AW/V ES-CD241AB/V
外観				
ボディーカラー	ホワイト ダークグレー	ホワイト ブラック	ホワイト ダークグレー	ホワイト ブラック
形状	筒型	ドーム型	筒型	ドーム型
設置可能箇所	屋内・屋外			屋内・屋外軒下
防塵・防雨仕様	○：IP66（雨ざらし対応）			×：雨ざらし非対応
ボディー材質	アルミ合金			プラスチック
赤外線LED・投射距離	36灯・20m	24灯・20m	48灯・40m	無
被写体識別目安距離	2～5m		2～15m	
搭載レンズ	3.6mm（固定）		2.8～12mm（手動調整可）	
画角範囲	水平約67°垂直約53°		ズームアウトMAX時：水平81° 垂直64° ズームインMAX時：水平22° 垂直17°	
CCD／解像度／F値	1/3' CMOS / 800TVL / 画像明るさ指標2.0（標準）			
ビデオ・音声信号出力形式	●映像：NTSC / CVBS（コンポジット映像信号） / 1Vp-p:75Ω ●音声なし			
各種レベル調整	電子シャッター1/60sec / 映像レベル調整：固定 / 色彩調整：固定			
電源／消費電流／電力	DC12V／300mA／3.6W		DC12V／600mA／7.2W	
重量[g]	320	280	ホ660/タ700	270
寸法[mm]・詳細別項	横85・奥200	底面径93・高78	ホ横74・奥254/タ横74・奥305	底面径127・高96
使用温度範囲	-5℃～+40℃			0℃～+40℃
付属品	日本語取扱説明書・保証書・ビス関連 / アダプタ・ケーブル別売（レコーダーセットは付属）			
製品保証期間	2年間（別途有償で合計3年保証制度有）			

13. カメラ仕様（AHD200万画素シリーズ）

▼本機▼

総画素数	200万画素(1080P) / AHD2.0			
型番	ES-CW360PW/C ES-CW360PG/C	ES-CD200AP/C ES-CD200AP/C	ES-CW420PW/V ES-CW420PG/V	ES-CD241PW/V ES-CD241PB/V
外観				
ボディーカラー	ホワイト ダークグレー	ホワイト ブラック	ホワイト ダークグレー	ホワイト ブラック
形状	筒型	ドーム型	筒型	ドーム型
設置可能箇所	屋内・屋外			屋内・屋外軒下
防塵・防雨仕様	○：IP66（雨ざらし対応）			×：雨ざらし非対応
ボディー材質	アルミ合金			プラスチック
赤外線LED・投射距離	36灯・20m	24灯・20m	48灯・40m	無
被写体識別目安距離	2～5m		2～15m	
搭載レンズ	3.6mm（固定）		2.8～12mm（手動調整可）	
画角範囲	水平約67°垂直約53°		ズームアウトMAX時：水平81° 垂直64° ズームインMAX時：水平22° 垂直17°	
CCD／解像度／F値	1/3' CMOS / 1080P / 画像明るさ指標2.0（標準）			
ビデオ・音声信号出力形式	●映像：NTSC / CVBS（コンポジット映像信号） / 1Vp-p:75Ω ●音声なし			
各種レベル調整	電子シャッター1/60sec / 映像レベル調整：固定 / 色彩調整：固定			
電源／消費電流／電力	DC12V／500mA／6W		DC12V／700mA／8.4W	
重量[g]	320	280	ホ660/ダ 700	270
寸法[mm]・詳細別項	横85-奥200	底面径93-高78	ホ横74-奥254/ダ横74-奥305	底面径127-高96
使用温度範囲	-5℃～+40℃			0℃～+40℃
付属品	日本語取扱説明書・保証書・ビス関連 / アダプタ・ケーブル別売（レコーダーセットは付属）			
製品保証期間	2年間（別途有償で合計3年保証制度有）			

14. アフターサービスについて

1. 日頃のお手入れについて

3カ月に1度は、本機の外観のホコリ等の除去をお願い致します。

2. 本機に異常が見られたとき

- ① 保証期間内に異常が見られた場合は、別紙保証書の保証規定をご覧ください。
- ② 保証期間外に異常が見られた場合ですが、一度当社へご連絡をお願い致します。
当社は安価型システム販売専門としている為、安価型商品を修理致しますと、以下のような項目の費用が発生し、最終的には新品価格と同等以上になります。

- 1) 修理部品(症状により様々)
- 2) 修理工賃
- 3) 諸経費
- 4) 配送費

従いまして、原則修理は受け付けておらず、新品への更新をお勧めしております。
但し、不具合の症状の中には本機異常以外の理由で、

例1 : 映像にノイズ発生。
実は、コネクタ接続部の接触不良で本機には問題なし。

例2 : 映像が映らなくなった。
実は、モニターの電源が付かなくなっていた。

という事も御座いますので、機器点検は当社にて受け付けております。
エンドユーザー様より当社への発送費用保証期間内は着払い（発着・弊社負担）、
保証期間外は元払い（発着・お客様ご負担）になります。

その点検にて軽微な症状例の場合ですが、以下に例を明記します。

例1 : ケーブル類の接触・断線寸前（カメラ関係でよくある症例）
⇒ 修理可能

例2 : 内部バッテリー、HDD異常（レコーダー関係でよくある症例）
⇒ 修理可能

というように、軽微な症状例ですと修理は可能で御座います。
点検ご依頼の際は、点検結果をご報告致し、その際に軽微な症状に対する修理が可能と判断させて頂いた場合は、お見積り金額も提示させて頂きます。尚、点検は無料にて行っております。

尚、廃棄物処理は受け付けておりませんので、当社へお送りして頂いた商品は必ずご返送させて頂きます。

3. その他ご不明な点につきましてはお問合せください。

合同会社エレックスシステム TEL 045-317-9873 FAX 050-3156-3747

Copyright © ELEX SYSTEM. All Right Reserved.

